

議事録（次第）

-令和6年度 第3回 事業者分科会-

日時：令和6年11月29日（金）10：00～

場所：富士見町役場 301会議室

1. これまでの経過

- (1) 第1回 事業者分科会の議事概要について
- (2) 第2回 事業者分科会の議事概要について

2. 本日の議題

- (1) 求められるアウトプットについて
- (2) 今後の方向性について

3. その他



議事録（経過）

（Ⅰ）第Ⅰ回 事業者分科会

○分科会設立の背景と目的の説明

○事例紹介

○テーマ出し（概要抜粋）

- ・ 開発が進む薄型フィルムの太陽光発電をビニールハウスに積極採用。
- ・ カーボンダッシュボードの簡易版製作、利用事業者のモニタリングの実施。
- ・ 省エネ診断を産業振興センターが提供する安全衛生点検パッケージに追加。
- ・ 電力の地産地消を地域新電力設立によって実現。



○情報提供

- ・地球温暖化の背景と中小企業の脱炭素推進
- ・「省エネ事始め」と支援制度

○課題の共有

- ・事業所には省エネ担当者はいるが専任ではない。省エネに特化した人材がない。
- ・現時点では、取引先から具体的な取組要請はまだなくデータ取りをしているのみだが、温暖化対策へ投資するメリットの見出しが必要か。
- ・事業者の省エネ推進には経営者の理解が重要。経営者向けの脱炭素 推進の啓蒙活動が必要である。
- ・農振地域では営農型太陽光の導入には課題が多い。それ以外の農地では検討可能か。
- ・農業分野については、” 農業サブ分科会” が必要では。



議事録（本日の議題）

（Ⅰ）求められるアウトプット

○「富士見町脱炭素ビジョン」の策定【令和5（2023）年度】

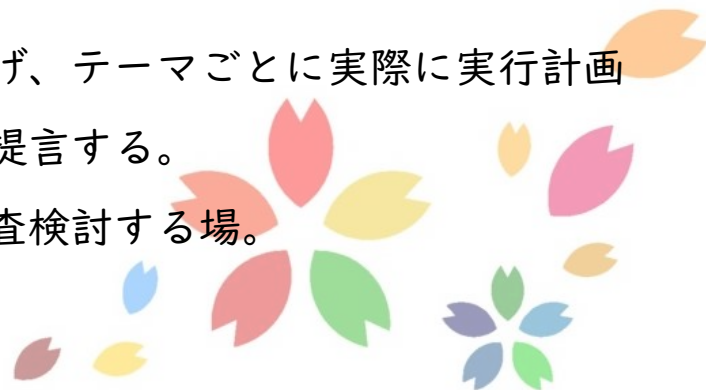
- ・ 本町における再生可能エネルギーのポテンシャル調査や地域課題の整理
- ・ 本町が取り組むべき施策や方向性を選定

○「富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定【令和6（2024）年度】

- ・ 本町の全事業者及び全町民を対象とした計画
- ・ 産業分野、家庭分野など、分野別に具体的な削減目標を設定

●分科会の役割

- ・ 富士見町ならではの（地に足の着いた）施策案を挙げ、テーマごとに実際に実行計画へ載せるべき具体施策やプロジェクト案を委員会へ提言する。
- ・ 一人ひとりが実行できる案をメンバーが協議し、調査検討する場。



議事録（本日の議題）

（1）求められるアウトプット

○町が主体でできること（例）

- ・産業分野、家庭分野等への中間的支援。（省エネ診断の斡旋・講習会の開催・住宅関係補助金への脱炭素視点導入など）
- ・公共施設の省エネ、省資源、廃棄物の減量化など「富士見町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」で計画的に進める。

○産業分野、家庭分野が主体でできること（例）

- ・CO2の把握、省エネ診断、運用の改善など。
- ・燃料転換、高効率設備等の再エネ導入。
- ・住宅の断熱改修。

→ 費用対効果が得られないと難しい。

小規模事業者においてはトップが主体となり進める体制を作れないと進まない。



議事録（本日の議題）

（1）求められるアウトプット

●委員会へ提言する（実行計画に盛り込みたい）こと

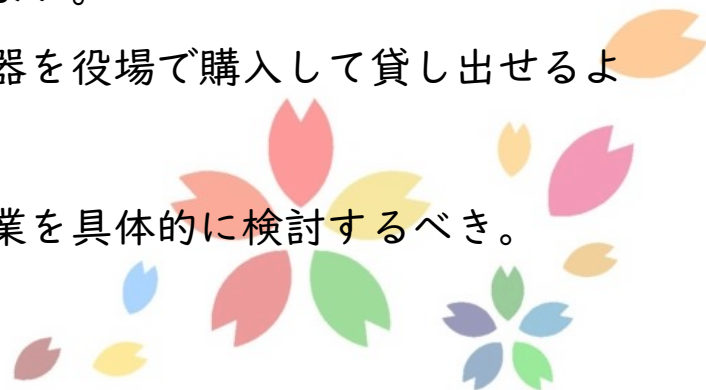
- ・ アンケート結果より、製造業・建設業はステークホルダーからの要請があるなど、業種により差が見受けられた。また、専門知識やノウハウの不足、コストメリット、資金不足等の意見が多く挙げられていた。「地球温暖化対策の推進」という言葉だけで促すのではなく、電気料金や燃料費を削減することで、結果CO2排出量削減となり、「地球温暖化対策の推進」になることを伝えたい。
- ・ 商工会を軸に各事業者へ地球温暖化対策の意識付け、意欲向上を目的とした学習会の具体的検討を行う。儲かる（コストメリットがある）ことを前面に。（例えば、夜開催など参加者に配慮を）→本年度中、2月（3月）に開催を計画する。
- ・ 賛同をいただける事業者へは、省エネ診断（無料）につながる後押しをする。
- ・ 茅野市と同様に電気（燃料）の使用量を可能な限り把握し、CO2排出量削減のKPIとして欲しい。
- ・ 分野別にモデル事業や中間支援のしくみを検討する場を作りたい。
- ・ エネルギーや断熱など、事業者・住民分科会など横串の勉強会も開催しては。

議事録（本日の議題）

（2）今後の方向性

○委員会へ提言する（実行計画に盛り込みたい）こと 以外のこと

- ・（例えば）来年度以降、検討したいこと。
- ・（例えば）実行できるか分からないが、やってみたいこと。
- ・農業分野のサブ分科会については、今年度の対応はスケジュール的に難しい。
今後の検討課題や段取部分については、他の分科会とも合わせながら来年度以降に方向性を決めていく。
- ・カーボンダッシュボードをベースに、簡単な条件を入れると経費（CO2）の削減量が分かり、利用可能な補助金の案内ができるようなシステム開発ができれば。
- ・勉強会やセミナー参加者にインセンティブがあるとよい。
- ・省エネ診断を推していくなら、診断に必要な計測機器を役場で購入して貸し出せるような仕組みが欲しい。
- ・森林や農地など、町にあるものを利用したモデル事業を具体的に検討するべき。



議事録（その他）

○本年度の全体スケジュール

本日 第3回 事業者分科会

来週 第3回 バイオマス分科会、住民分科会

↓ 分科会からの提言を盛り込んだ実行計画（素案）作成

12月下旬 第4回委員会

↓ 委員会の意見を盛り込んだ実行計画（素案）作成

1月下旬 議会全員協議会（素案説明・意見聴取）

↓ パブリックコメント（2～3週間）

↓ パブリックコメント意見まとめ（2～3週間）

3月初旬 第5回委員会（完成報告）

3月中旬 議会全員協議会（完成報告）

3月下旬 富士見町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）公表

